

# 学 位 論 文 の 要 旨

所 属	三重大学医学部（内科学第二）	氏 名	門脇 重憲
<p>主論文の題名</p> <p>Ease of early gastric cancer demarcation recognition : A comparison of four magnifying endoscopy methods</p> <p>主論文の要旨</p> <p>背景と目的：早期胃癌の境界はしばしば不明瞭であり、境界診断に対して拡大内視鏡を用いた様々な方法が考案されている。これまで酢酸や狭帯域光観察（NBI）を用いた拡大内視鏡観察の有用性が報告されているが、未だそれぞれの方法を比較した報告はない。本研究では通常拡大観察（通常）、NBI 併用拡大観察（NBI）、酢酸併用拡大観察（酢酸）、NBI 酢酸併用拡大観察（NBI 酢酸）の4方法の中で、早期胃癌の境界認識が最も容易である方法を検討した。</p> <p>対象と方法：対象は、37 人の連続症例、40 病変。拡大内視鏡を固定し病変の境界部を通常、NBI、酢酸、NBI 酢酸の4方法で観察し、静止画を記録した。病変毎の4画像をランダムに並べて1つのスライドに提示し、拡大内視鏡エキスパート8人と拡大内視鏡およびNBIや酢酸法を使用した経験がないノンエキスパート8人が境界認識の容易さを順位付けした。容易さの順に4点、3点、2点、1点とスコア化し、各方法のスコア平均点を一元配置繰り返しのある分散分析およびBonferroniの多重比較を用いて比較した。</p> <p>結果：エキスパートでの解析において、スコア平均点は通常1.23、NBI 2.61、酢酸2.62、NBI 酢酸3.54と4方法間で有意な差（<math>P&lt;0.0001</math>）を認めた。NBI 酢酸のスコア平均点は他のいずれより有意に高く、NBIと酢酸は通常より有意に高かったが、NBIと酢酸の間に有意差は無かった。ノンエキスパートでの解析では、スコア平均点は通常1.24、NBI 2.95、酢酸2.32、NBI 酢酸3.50であり、4方法間で有意な差（<math>P&lt;0.0001</math>）を認めた。NBI 酢酸のスコア平均点は他のいずれより有意に高く、次にNBI・酢酸・通常で、それぞれ有意差を認めた。</p> <p>結論：エキスパート、ノンエキスパートのいずれにおいても拡大観察による早期胃癌の境界認識は、通常よりNBIや酢酸を併用する方が容易となり、NBI 酢酸両方併用することで最も容易となる事が示された。</p>			

（注）2，000字以内にまとめて記入すること。